

一 般 質 問



山崎 仁 議員

問 ①今金町のデマンド交通を問う
②高齢者福祉ハイヤー・バス料金助成を問う

答 ①車輛の小型化や予約制を目指す
②「デマンドバス」等を上手に利用していただきたい

山崎議員①

現在、人口比で約82%がデマンドバスの対象地域となりました。町では残る18%、約900人の住む地区については二つの課題があるため導入は困難との見解であります。一つは運行事業者の車輛等の問題、もう一つは幹線バスとの路線重複問題であります。私は高齢化率が40%を超えるなか町がこれらの課題を解決し住民に等しく移動サービス

を提供するべきと考えますがいかが伺います。また、通院・買物等外出時ドアからドアへの要望が強くなっている現状を考えると福祉バス事業を活用して、バスの小型化予約制度導入等、早急な対応が可能と考えますが併せていかが伺います。

町長①

デマンド交通路線、瀬棚線のライダー路線設定にあたっては、国の許可を必要としますが、区間重複の運行は認められず、厳格な運用がされており、こうした制度を踏まえ誕生したデマンドバス交通路線は、制度を最大限活用し、実現したものであり、路線を全町全域に広げ、カバーする態勢を整えるのは、制約が大きいことを、ご理解いただきたいと思えます。

今後は、患者バスの利用状況等を踏まえ、利便性ある運行形態とするため、予約制を想定したオペレーション体制の検証、議員の提案同様、車両小型化によるドアからドアに対応する運行を目指して取り組めます。

山崎議員①

今金のステーションを拠点として、そこにつなげるライダー系のデマンドは出ないのか？

町長①

全町全域にわたるデマンドバスを広げていきたい思いがあるが、幹線バスを無くしてはいけません。路線が重複することにより、乗車率の低下は望ましくない。このため現行、行っている改革を進めている。

山崎議員①

例えば、10人乗りの議会車を福祉バスに運用する事は、すぐに出来ると思えますが？

町長①

患者バス運行を事業者に委託する話をしております。しかし運転手確保等の課題もあります。

山崎議員①

委託だけではなく、役場でもすぐに出来る事はあると思う。例えば予約業務。また予約時のみ運行した方が、費用削減が出来て効率が良いと思えます。

町長①

課題は予約の在り方です。前日予約だけ考えれば、出来る要素があると思いますが、当日の場合は、受付困難かと。引き続き検討して参ります。

山崎議員②

今金町ではこれまで高齢者の外出を支援し社会参加の促進を図り、健康保持・生活向上に資する目的で高齢者交通料金助成事業がありました。しかし、残念ながらバスカードのIC化等により同事業は終了となりました。私は近年社会問題化している高齢運転者の免許返納等がスムーズに安心して出来るためには、公共交通網の整備と同様にハイヤー・バス料金の助成による交通支援が必要と考えますがいかが伺います。

町長②

現在廃止されていますが、高齢者を対象にバス料金助成を平成26年から29年度まで実施してきました。また現在、ハイヤー料金助成については、「重度障がい者タクシー料金助成」として実施しています。

その間、デマンドバスが定

着しつつあります。その経過を踏まえ高齢者福祉施策を考えた場合、助成内容の整理、対象者、地域設定など非常に難しい課題もあります。

対象者を限定しない「デマンドバス」や「まちなかルンるん号」を事情に合わせて上手に使い分けて利用していただきたいと思えます。

山崎議員②

高齢者の外出支援のためにも、事業を精査して、組み換え、新しく作る事が大事だと思います。

また、町長の仕事は町民福祉の向上、町民の幸せの為にどのように仕事を行うのかが重要だと思いますので、十分に協議をして早急に対応をしていただきたいと思います。

町長②

事業者の運行体制確保の課題もあり、総合的に整理しながら判断をする立場にありますが、議事等、様々な意見を聞きながら、町民の方々が望む施策実現に向けて努力をして参りたいです。